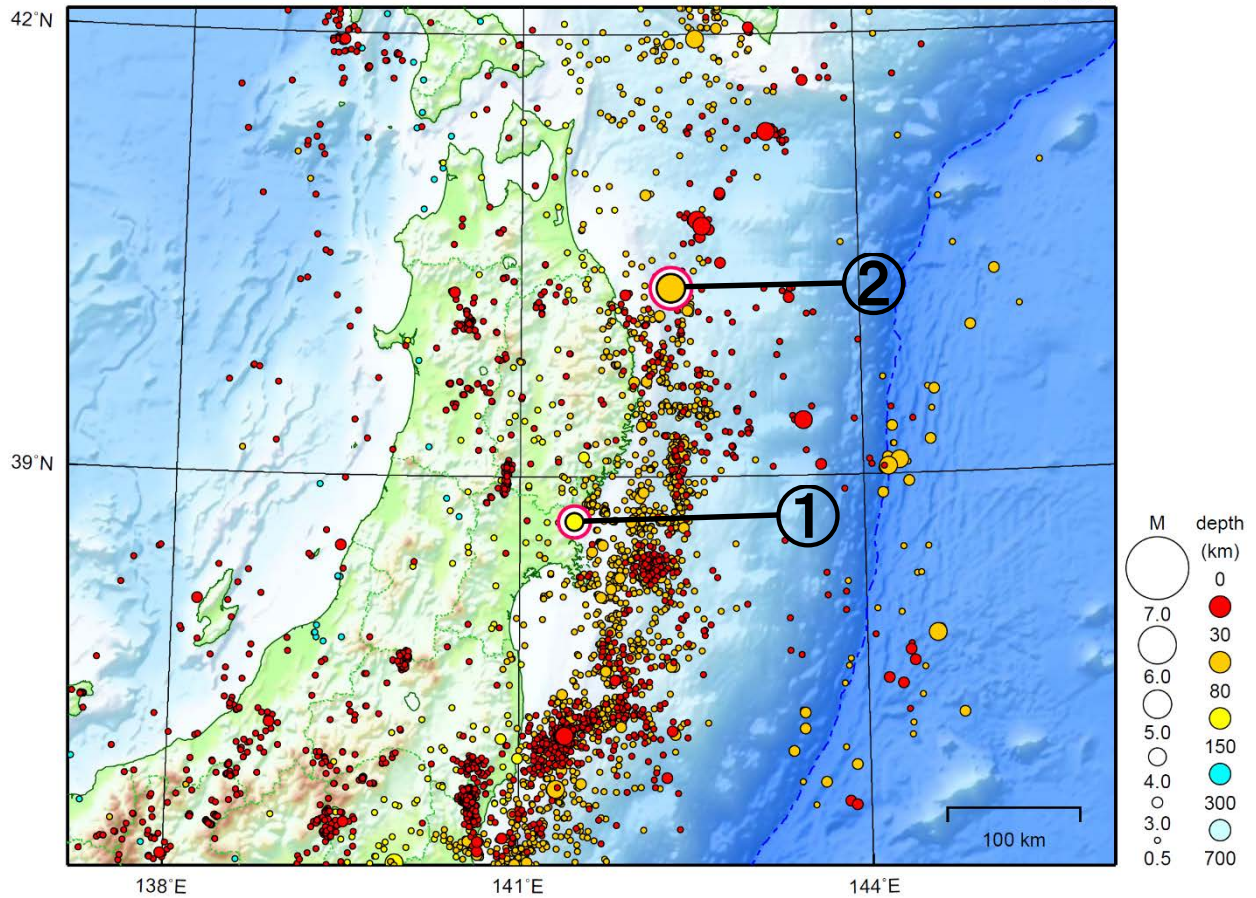


# 東北地方

2019/01/01 00:00 ~ 2019/01/31 24:00

N=3845



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 1月6日に宮城県北部で M4.5 の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 1月26日に岩手県沖で M5.6 の地震（最大震度4）が発生した。

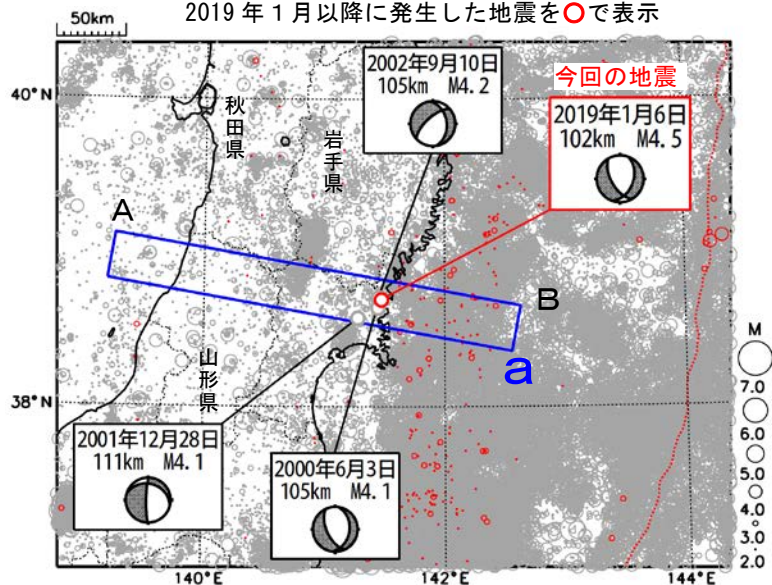
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# 1月6日 宮城県北部の地震

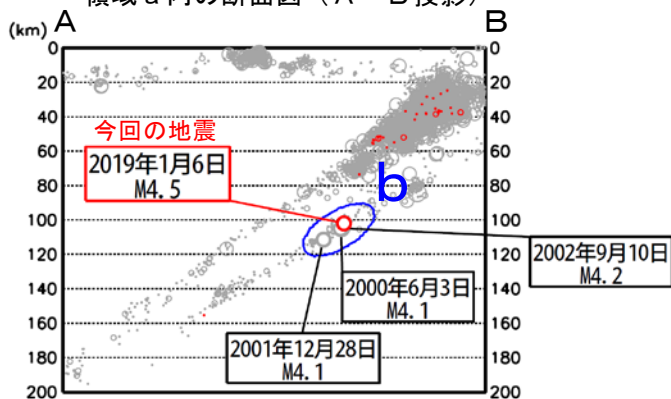
震央分布図

(1997年10月1日～2019年1月31日、  
深さ0～200km、 $M \geq 2.0$ )

2018年12月以前に発生した地震を○、  
2019年1月以降に発生した地震を●で表示



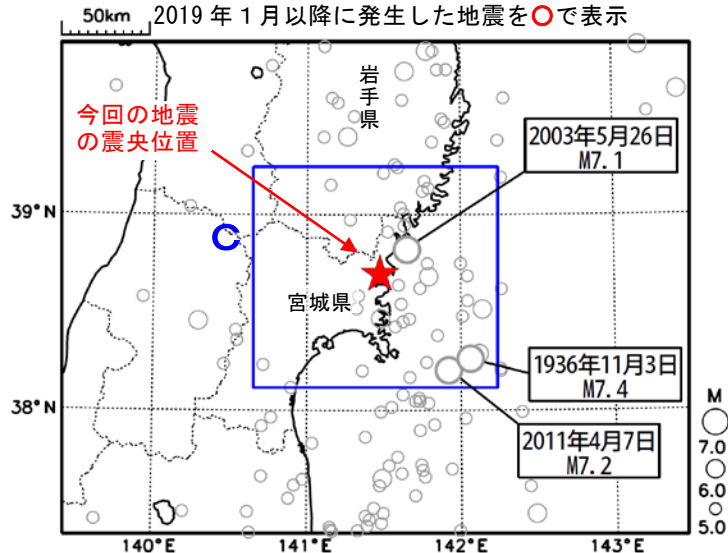
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1923年1月1日～2019年1月31日、  
深さ60～200km、 $M \geq 5.0$ )

2018年12月以前に発生した地震を○、  
2019年1月以降に発生した地震を●で表示

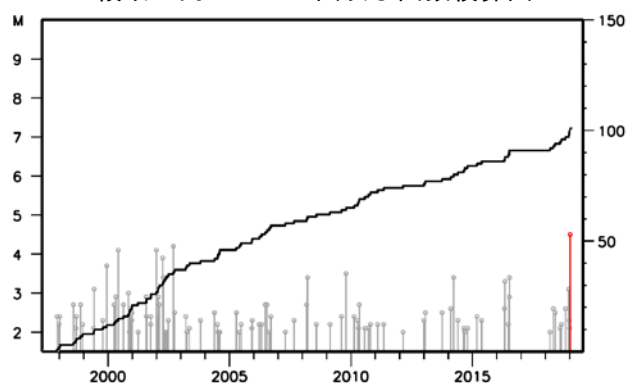


2019年1月6日17時34分に宮城県北部の深さ102kmで $M 4.5$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生した。発震機構はプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

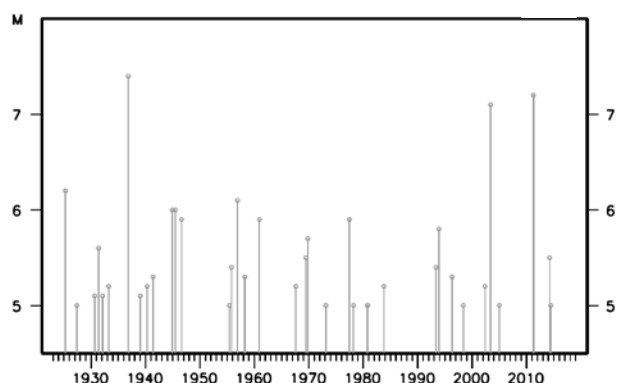
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2002年9月10日に $M 4.2$ の地震（最大震度2）が発生するなど、 $M 4.0$ を超える地震が4回発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 6.0$ 以上の地震が7回発生している。このうち2003年5月26日に発生した $M 7.1$ の地震（最大震度6弱）では、負傷者174人、住家全壊2棟、半壊21棟、一部破損2,404棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



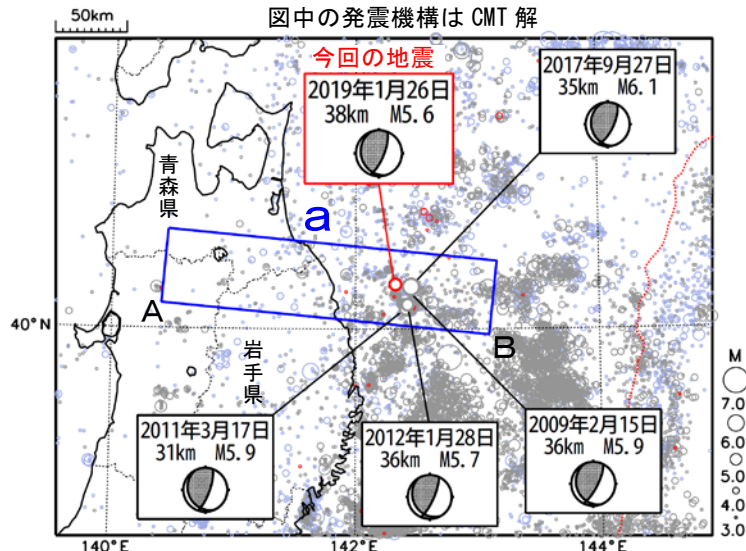


# 1月26日 岩手県沖の地震

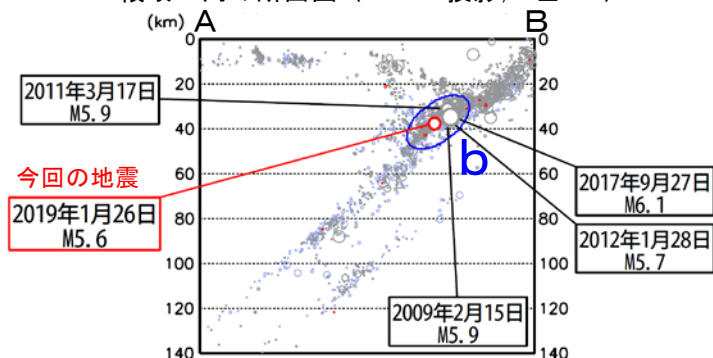
震央分布図

(1997年10月1日～2019年1月31日、  
深さ0～140km、 $M \geq 3.0$ )

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を○、  
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○、  
2019年1月以降に発生した地震を●で表示  
図中の発震機構はCMT解



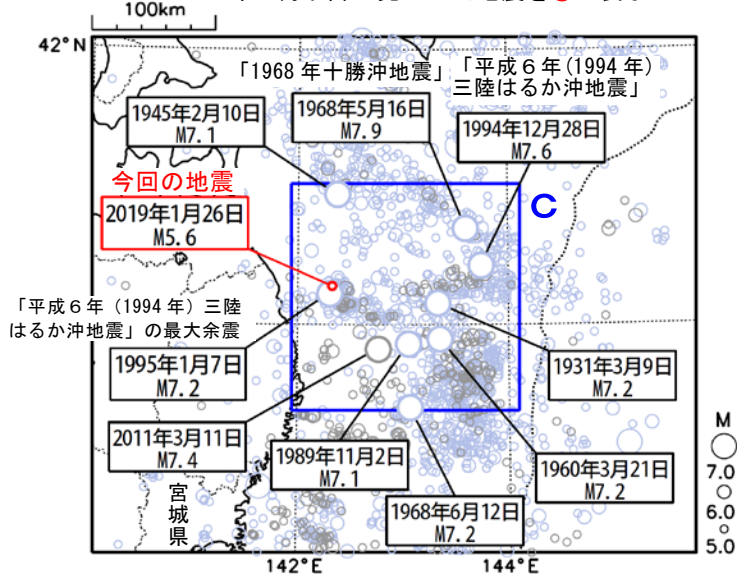
領域a内の断面図 (A-B投影、 $M \geq 2.0$ )



震央分布図

(1923年1月1日～2019年1月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$ )

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を○、  
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○、  
2019年1月以降に発生した地震を●で表示



2019年1月26日17時23分に岩手県沖の深さ38kmで $M 5.6$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 5.0$ を超える地震が時々発生している。「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降、地震の回数が増加し、 $M 5.0$ 以上の地震が13回発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1994年12月28日に「平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震」 ( $M 7.6$ 、最大震度6) が発生し、青森県八戸や岩手県宮古で50cmの津波が観測された。この地震により、死者3人、負傷者788人、住家被害9,522棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図

